

草花を生かした美しい景観づくり

雪印種苗(株) 千葉研究農場

西川 勝己



はじめに

各種イベントや都市緑化など、草花や樹木を用いて多彩に演出された機会や場面を各地で頻繁に目にするようになりました。その中でも、草花種子による景観づくりは多種多様な草花があることと、比較的手間がかからず安価で手軽に栽培することが可能なことから、家庭花壇から公園などの公共空間まで、様々な場面で利用されています。

ここでは、それぞれ特徴の違う場面での草花の利用をご紹介します。

1 建設予定地

駅前の正面にできた空き地を草花で修景しています。周辺には高層ビル群が立ち並ぶ大規模な開発地で、将来はこの場所もオフィスビルや商店、その他各種施設の建設が予定されています。駅前ということで人通りも多く、また、すぐそばまで海岸がせまっていて風も強いので、環境美化と飛砂防止などの効果を狙って草花を導入することと



写真1 すじ状に発芽

なりました。

1) 開花までの作業

①草花の選択

ごく短期間の利用であれば、草花単品のみ（1年草など）の利用もできますが、場所の性質上、長期にわたって修景する可能性もあることから、宿根草と1年草がミックスされた「スノーミックスフラワー・ポピュラータイプ」を利用しました。

②播種準備

・土壌改良、施肥

周辺は埋立地で、砂などが客土されており、肥料保持や水分保持の能力が弱く、肥料分も少ないので、草花が健全に生育できる環境でないことが事前の調査で分かりました。よって、以下の資材を投入して、土壌の化学性、物理性、生物性の向上を図りました。

ピートモス	2 l / m ²
ゼオライト	2 kg / m ²
エスカ有機	0.4 kg / m ²
化成肥料	20 g / m ²

・耕起

上記の資材を全体に散布した後、これらを土壌中に混入させ、さらに固い土壌をほぐすために20～30 cm程度の深さで耕起しました。

③播種

・すじまき

栽培期間中の雑草の発生が予想されたので、雑草管理がしやすいすじまきで播種しました。

・播種

標準播種量の2.2 g / m²を播種しました。

2) 開花後の作業

①除草

3月に除草を行いました。さほど雑草は発生しておらず、目立つものを取りのみとなりました。

②春の開花

4月下旬より開花が始まりました。

6月下旬まで開花の盛りが続き、開花期間中は5種類程度が非常に美しい開花を見せました。

ポピーシャーレー、矢車草、小町草、フロックス、アリッサムなどが開花しました。

③刈り払い（掃除刈り）

開花盛りを過ぎて枯れ株が目立つので、それを取り除くためと、宿根草や落下種子の生育を促進するために、刈り高 30 cm 程度で刈り払いを行いました。

④追播

宿根草の密度が低い部分を補うため、さらに秋に開花する草花の種類を増やすために、追播を行いました。種子を5倍量程度の土で増量し、株もとに播種しました。

⑤追肥

全体的に葉の色が淡く、株張りもやや小さめで、多少肥料不足の状況だったので、追肥を行いました。

⑥かん水

7～8月にかけての極度に降雨の少ない時期にかん水を行いました。

⑦秋の開花

秋にも開花が見られました。宿根草のルドベキアや、春に開花した後にできた種子と追播した種子から発芽・生育したものです。

建設予定地での作業の流れを図1に示しました。



写真2 春の美しい開花

	作業	状況
9月	除草 土壌改良資材 耕うん	
10月	播種	草花発芽 雑草
11月	除草	
12月		
1月		
2月		
3月	除草	雑草
4月		開花
5月		
6月		
7月	掃除刈り 追播、追肥	雑草
8月	除草 かん水	
9月		開花
10月		

図1 建設予定地での作業の流れ

2 ゴルフ場

ゴルフ場のフェアウェイの横に花を飾って、花のある美しいコースになりました。最近では女性のプレイヤーも増え、芝の美しさだけでなく、花による魅力的なコースづくりをするところも増えてきています。

1) 作業

①播種準備

土壌の構成はほとんどが山砂で、土壌改良が必要のため、豚ふん堆肥の「エスカ有機」を投入することにしました。小型の中耕除草機で耕起して土をほぐした後、「エスカ有機」を0.5 kg/m²投入し、再度耕起しました。この耕起で堆肥が土中に混和され、さらに雑草の根が切られるとともに土中にすき込まれました。

②播種

1年草と宿根草がほどよくブレンドされ、リーズナブルに利用できる「スノーミックスフラワー・

ポピュラータイプ」を利用しました。

堆肥を投入した後、降雨によって土が締まり気味だったので、播種前に耕起し、その際にできた溝に種まき機「ごんべえ」を利用してすじ状に播種しました。草花の種子は非常に小さいので、増量材として湿らせた米ぬかを利用しました。

播種後は種子と土とが密着できるように、播種した上を足で踏んで鎮圧をしました。

③除草

草花が順調に発芽するとともに雑草の発生も見られたので、除草を行いました。条間に「エスカ有機」を散布した後、中耕したので、除草と同時に追肥にもなりました。

④開花

5月上旬より開花が始まり、ポピーシャーレーや矢車草、かすみ草などが咲き乱れる美しい景観が見られました。

ゴルフ場での作業の流れを図2に示しました。

	作業	状況
10月	耕起、堆肥 播種	草花発芽
11月	除草、追肥	雑草
12月		
1月		
2月		
3月		雑草
4月	除草、追肥	
5月		開花
6月		
7月	掃除刈り 追播、追肥 除草	雑草
8月	かん水	
9月		開花
10月		

図2 ゴルフ場での作業の流れ



写真3 管理がしやすいすじまき



写真4 春の開花

3 道路周辺の美化

空き地や道路沿いなど、雑草が繁茂しているような場所を修景する場合は、徹底した雑草管理が必要です。このような場所では建設残土や山砂などが入っている場合が多く、草花の生育に好ましくない場所がほとんどです。廃材などが埋まっている場合もあり、耕起しづらく、土壌改良が困難な場所もあります。

この場所も地力が弱く、耕起しにくいので、土壌改良は行わないで播種しました。

①除草

現在生えている雑草は除草剤「ラウンドアップ」を用いて枯らせました。さらに1か月程度期間において雑草種子を発芽させてから、再度除草剤をかけ、播種前の除草対策を徹底しました。

②草花の選択

このような場所では保肥性や保水力などが悪く、耕起を行えないなどの条件から、強健な草花の利

用が望めます。さらに、耕起や除草剤散布などの除草対策を考えながら、強健な1年草を毎年播種する方法をとるのが賢明であると思われます。ここでは、キバナコスモスを利用しました。

③播種

3 cm 程度の深さの溝をつけ、すじ状に播種を行いました。発芽や生育が心配されたので、1 m 当たり 2 g 程度の量で、多めに播種しました。乾燥する土壌にもかかわらず、梅雨時期の雨を狙って播種したので、発芽が揃いました（播種2日後に降雨）。

④除草

コスモスは順調に発芽しましたが、雑草の発生も見られたので、除草剤を散布しました。肩掛け式の散布機などで雑草のみに除草剤をかけ、草花にかからないよう十分注意して散布します。その他、刈り払い機で雑草を刈ることもできるので、草花と雑草の区別が付き、雑草管理がしやすいよ



写真5 すじまきで雑草管理

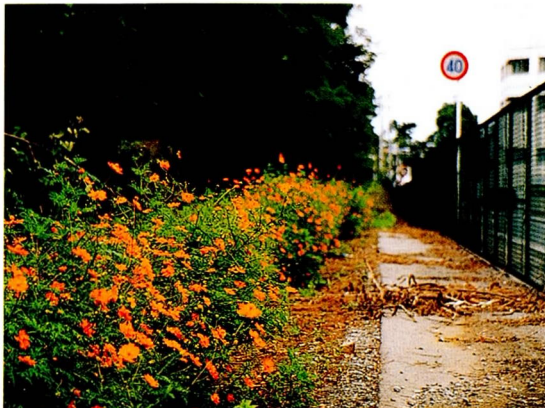


写真6 道路周辺を彩るコスモス

	作業	状況
5月		
6月	除草剤散布	雑草
7月	除草剤散布 播種	雑草
8月	除草剤散布	草花発芽 雑草
9月		開花
10月		
11月	掃除刈り	

図3 道路周辺での作業の流れ

うに、草花はすじ状に播種します。

⑤開花

肥料不足、降雨不足で株は小さく、欠株となっているところもありますが、開花にまで至り、すぐ横の道路からは十分美しい景観が見られました。8月中旬から10月中旬までの間、開花していました。

道路周辺での作業の流れを図3に示しました。

4 公共広場

公園などの公共広場や休耕田などで、草花を利用したイベントや美しい修景づくりが各地で行われています。このような場所では、これまでも何か植物を栽培していたり、耕作地であったりすることが多いので、草花が生育する環境が整っている方だといえます。

ただ、種子から始める栽培に関しては、他の場所と変わりなく、雑草の管理には十分気を付ける必要があります。この雑草さえ注意しておけば、簡単に美しい景観が作れるといえます。

ここは、芝生広場や市民農園などがある多目的な大規模公園ですが、毎年草花を利用したイベントを開催しています。

①耕起

耕起をして土を細かくすることで、土と種子と

が密着できるので、発芽が向上し、根の生育が良好となり、さらに雑草をすき込むことができます。

②施肥

前作の肥料分が残っているので、無施肥で栽培しました。

③草花の選択

春まき草花で、開花が非常に美しく、人気のあ

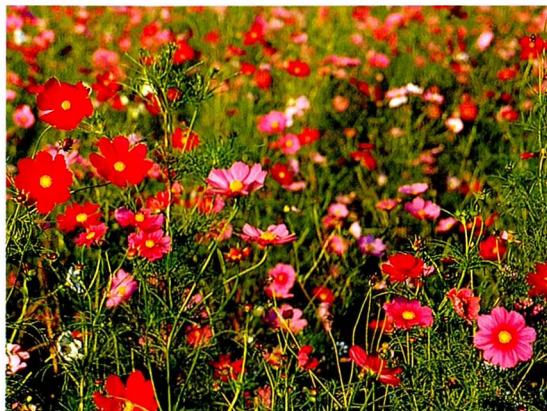


写真7 美しく、人気のあるコスモス



写真8 イベント会場を美しく飾るコスモス

	作業	状況
5月		
6月	耕起 播種	雑草
7月	除草	草花発芽 雑草
8月		
9月		開花
10月		
11月	掃除刈り	

図4 公共広場での作業の流れ

るひまわりとコスモスを利用しています。

④播種

雑草管理のしやすいように60cm程度の間隔ですじ状に播種しました。播種量は標準量です。

⑤除草

草花の発芽とともに雑草が発生したので除草を行いました。初期に除草を行えば、ひまわりやコスモスは生育も速く、また旺盛なので、その後は雑草の発生は気になりません。

⑥開花

場所によって地力ムラがないので全体が揃い、大きな株となってたくさんの花を咲かせたので、大変美しい開花景観となりました。

公共広場での作業の流れを図4に示しました。

雪印推奨図書案内

- ◎イネ科・マメ科牧草の主要病害を写真入りで解説！
原色「牧草の病害」
A 5判 200頁 西原 夏樹著 頒価 3,000円
- ◎トウモロコシ・ソルガム・ムギ類の主要病害を写真入りで解説！
原色「飼料作物の病害」
A 5判 102頁 西原 夏樹著 頒価 2,000円
- ◎アルファルファの品種・栽培・病害虫・収穫調製などを網羅！
新刊「アルファルファ(ルーサン)」—その品種・栽培・利用—
A 5判 250頁 鈴木 信治著 頒価 3,000円
- ◎酪農家のバイブル、サイレージ調製には、これ一冊でOK！
微生物のパフォーマンスとその制御「サイレージバイブル」
A 5判 124頁 監修 高野 信雄 安宅 一夫 頒価 1,000円
- ◎植物ホルモンに関しては、これ一冊でOK！
作物の収量・品質向上への期待「サイトカニンバイブル」
A 5判 125頁 編著 葭田 隆治 頒価 2,000円

★いずれも送料、消費税込み価格、お申込みは最寄の弊社営業所へ